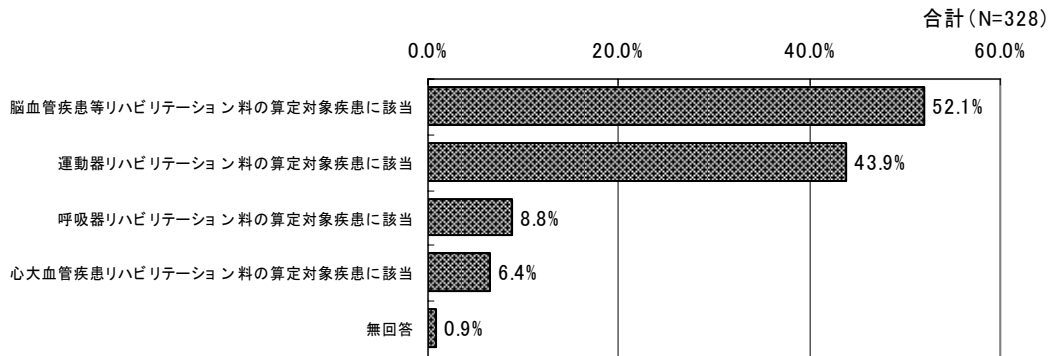


2) 該当する場合、その疾患・障害（複数回答）

算定対象疾患以外の疾患・障害を有する場合、その疾患・障害についてみると、「脳血管疾患等リハビリテーション料の算定対象疾患に該当」（52.1%）が最も多く、次いで「運動器リハビリテーション料の算定対象疾患に該当」（43.9%）となっている。

図表 6.5-8 算定対象疾患以外の疾患・障害を有する場合の疾患・障害

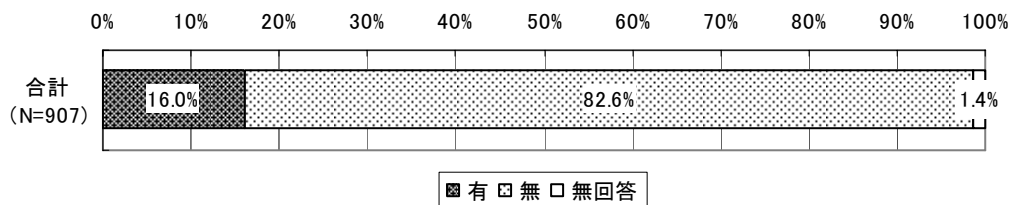


(5) 過去に算定していたリハビリテーション料

1) 過去に算定していたリハビリテーション料の有無

過去に算定していたリハビリテーション料については、16.0%が「有」としている。

図表 6.5-9 過去に算定していたリハビリテーション料の有無



2) 現在のリハビリテーション料に切り替えた理由

現在のリハビリテーション料に切り替えた理由については、「新たな疾患が発症したため」（27.6%）が最も多く、次いで、「病態が変化したため」（26.2%）となっている。

図表 6.5-10 現在のリハビリテーション料に切り替えた理由

